

平成 23 年 度
事 業 報 告 書

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 HOKKAIDO しっぽの会

平成 23 年度事業報告書

平成 23 年 4 月 1 日から 平成 24 年 3 月 31 日まで
特定非営利活動法人 HOKKAIDO しっぽの会

事業の成果

本年度も活動の主軸である行政機関に收容されている犬猫の保護・譲渡事業を積極的に行った。また、より多くの方々に対して、北海道、ひいては日本国内における犬猫の現状を、会報やインターネット、イベントを通じて啓発し、人とペットが共生していく社会づくりに寄与することに取り組んだ。

3月に発生した東日本大震災で被災した犬猫たちを支援するため、義援金を募集、5月には義援グッズを販売、全売上と義援金を送金し継続している。8月には札幌紀伊国屋書店で主催イベントを6日間開催し、より多くの方々に動物の愛護や福祉の啓発を行った。高齢やハンデがあるしっぽの会の犬猫預かりの「預かりボランティア制度」を発足する。

事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

1. 保護事業

行政機関から殺処分される犬猫を引き取って、新しい飼い主を探す事業では 130 匹の犬猫を譲渡していますが、前年度の犬猫譲渡数 157 匹より 27 匹減少しました。また、保護した犬は 112 匹、猫は 67 匹の合計 179 匹で、前年度の犬猫保護数 191 匹より 12 匹少なくなりました。本年度は東日本大震災の発生が、少なからず活動に影響しました。また、8 匹の犬猫が亡くなりましたが、死亡数は昨年 15 匹から 7 匹少なくなりました。

犬・猫保護状況（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

犬・猫	引取り数	譲渡数	引き取り後死亡数	譲渡率
平成 22 年度	191	157	15	82.2%
平成 23 年度	179	130	8	72.6%

犬	引取り数	譲渡数	引き取り後死亡数	譲渡率
平成 22 年度	110	95	6	86.4%
平成 23 年度	112	87	6	77.7%

猫	引取り数	譲渡数	引き取り後死亡数	譲渡率
平成 22 年度	81	62	9	76.5%
平成 23 年度	67	43	2	64.2%

■健康管理状況

前年度は犬パルボ感染症の疑いで死亡した犬もいたため、さらに犬舎、猫舎の消毒を徹底しました。また、人を介して感染することがないように、新たに引取りした犬猫や猫エイズ感染症、猫白血病の猫の世話の際に消毒液で手足、衣服を消毒し、施設内の感染症の予防に努めました。本年度も麻酔による弊害など健康に問題がない限り、引き取りした犬猫全匹に避妊・去勢手術を実施、同時にマイクロチップも挿入しています。

これにより、病気の予防はもちろんのこと安易なあるいは望まれない交配を完全に防ぎ、迷子や遺棄の防止に役立っています。

■飼育環境状況

前年度の3月に完成した新犬舎に25匹の大型犬が移動しました。新犬舎には各居（個）室から自由に出入りできるテラスが付いていますので、冬期以外は外に出て過ごす犬も増えています。しかし冬期間は寒さの問題もあり、出入口に板を張り付けたり、ビニールシートを張り付けたり、寒さ対策に時間と手間を要しました。寒さの厳しい北海道の冬期間もいかに快適に過ごせるかが課題です。12月からは、当会で長く暮らしている高齢やハンデがある犬猫をボランティア宅で飼養する「預かりボランティア制度」を発足し、心身ともに、目の行き届くきめ細やかなケアをしていただいているところです。

2. 動物の保護・愛護・福祉の啓発事業

3月に発生した東日本大震災で被災した犬猫たちを支援するため、義援金を募集、5月には義援グッズを販売、全売上と義援金を6月～10月迄は緊急災害時動物救援本部に送金、11月からは福島県動物救援本部へ送金し次年度も継続を予定。北海道、各振興局、札幌市動物管理センター、道内市立保健所、道立保健所などの動物行政に対して「犬猫の引き取り・収容動物の取り扱い及び啓発強化に関する要望」では、東日本大震災発生により署名の提出を延期予定。7月第4回しっぽの会アニマルチャリティ「明日へつなげたいせつな命」を紀伊国屋書店札幌本店にて6日間開催。初日には、もと戦場カメラマンの野良猫写真家中川こうじ氏の「命の授業」のトークイベントを開催。

北海道外のイベント東京恵比寿ザ・ガーデンホール「HAPPY MUSIC FESTA 2011」に参加。北海道新聞旭川地方版コラム記事にしっぽの会の保健所情報記事が掲載される。また主催イベントの他に多くのイベントに参加し、インターネット及び自会の会報誌、テレビや新聞、雑誌等のメディアを通じて、子どもやその保護者をはじめとする多くの方々に生命尊

重を伝えた。

2011 (H23) 年

5 月

- ・東日本大震災で被災したペット救済のため、応援グッズの販売を開始しました。

6 月

- ・よみうりほっ！とニュース「情熱びと」に当会の活動が紹介されました。
- ・東日本大震災で被災した動物たちのために「緊急災害時動物救援本部」に毎月末に寄付金の送金を開始しました。
- ・札幌地域新聞ふりっぱ一様にアニマルチャリティ「明日へつなげ たいせつな命」の記事が掲載されました。

7 月

- ・北海道新聞様に朝刊生活面にアニマルチャリティ「明日へつなげ たいせつな命」の記事が掲載されました。
- ・第 4 回しっぽの会アニマルチャリティ「明日へつなげ たいせつな命」を紀伊国屋書店札幌本店にて 5 日間にわたって開催しました。
イベント初日には、もと戦場カメラマンの野良猫写真家中川こうじ氏のトークイベント「命の授業」を開催し、動物愛護の啓発活動を行いました。
- ・AIR-G' エフエム北海道で、アニマルチャリティ「明日へつなげ たいせつな命」がライブ放送されました。

8 月

- ・環境省、動物取扱業の適正化について（案）に対する意見の募集（パブリックコメント）に意見を提出しました。

9 月

- ・東京恵比寿ザ・ガーデンホール「HAPPY MUSIC FESTA 2011」し、普段動物に関わる機会の無い方々にも動物愛護福祉に関する啓発活動を行いました。
- ・「2011 動物愛護フェスティバル in えべつ」に参加し、動物愛護の啓発活動を行いました。
- ・空知総合振興局の動物愛護週間に合わせた普及啓発パネル展に参加しました。

10 月

- ・毎年恒例となっているオリジナルチャリティカレンダーを発売しました。（4 年目）

11 月

- ・北海道新聞様に「2012 しっぽの会カレンダー」記事が掲載されました。
- ・北海道立保健所の中央ブロック、後志ブロックの生活衛生課環境衛生業務会議に参加しました。

12 月

- ・高齢やハンデがあるしっぽの会の犬猫預かりの「預かりボランティア制度」が発足しました。
- ・北海道新聞旭川地方版コラム記事にしっぽの会の保健所情報記事が掲載されました。
- ・環境省 「動物愛護管理のあり方について（案）（「動物取扱業の適正化」を除く）」「動物の愛護及び管理に関する法律施行令の一部を改正する政令案等の概要」に対する意見の募集（パブリックコメント）に意見を提出しました。

2012（H24）年

3 月

- ・引き取り犬・猫検疫部屋のためのスーパーハウスを設置しました。

- ・会報は 2 月、5 月、8 月、11 月の年 4 回発行
- ・足長通信は毎月末発行

3. ペットと共生するための地域環境の保全事業

狂犬病などの人畜共通感染症の恐ろしさを伝え、飼い主に正しい飼い方やワクチン接種の重要性を、一般市民にも保健衛生の大切さを伝えた。野良猫と共生できる方法を伝えた。平成 22 年度 11 月に発足した「飼い主のいない猫基金」では、個人の申請はあったものの地域のグループからの申請はなく、次年度は地域猫活動や『飼い主のいない基金』の不妊・去勢手術代の一部援助の助成金の周知に努めたい。

※ その他の事業はありません。

<次年度の課題>

1. 2013年9月の動物愛護管理法改正のパブリックコメントに積極的に参加
2. 保護した犬猫の健康診断の実施
3. 「犬猫の引き取り・収容動物の取り扱い及び啓発強化に関する要望」の署名提出延期に伴い、より多くの署名を集める。
4. 会の名称をスリムに『NPO 法人 HOKKAIDO しっぽの会』と改める
5. 札幌市駅前通りに出来た地下歩行空間でイベントを開催。ホームページの内容を充実させ、SNS を利用し啓発活動に力を注ぐ。

以上